

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立葛西第二中学校

教科	美術		学年	第3学年
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)		単元のまとまりの評価規準
オリエンテーション	1	・美術とは何かを知る。 ・授業規律の確認をし活動する		(主体的に学習に取り組む態度) (態表)授業規律を守り制作に取り組もうとしている。 (態鑑)美術活動の基本を確認した後、美術に対する興味・関心・意欲を新たに高める事ができる。 美術活動で多くの作品に触れ味わう喜びを深めていこうとする。
表現 工芸<篆刻> 石材の性質 印刀の使用 鑑賞 作品発表会	16	形や立体感、石彫の特性、量感や道勢などに着目し、イメージなどを捉えて、材料や用具の特性を生かして表す。 経験や考え、表したいイメージなどを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、形や質感、重心などを考え、構想を練ったり、鑑賞したりする。 感情やイメージなどを形で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。		(知識・技能) (知)形が感情にもたらす効果や、石の性質、立体感、量感や動勢などの造形的な特徴を基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 (技)材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 (思考・判断・表現) (発)経験や考え、表したいイメージなどを基に主題を生み出し、単純化や省略、協調、形や質感、重心などを考えて、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (鑑)造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) (態表)美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 (態鑑)美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立葛西第二中学校

<p>表現 デザイン・工芸 ・アイデアデザイン ・スクラッチ方法</p> <p>鑑賞 作品発表会</p>	<p>12</p>	<p>素材がもつ特性や美しさを生かし、用途や機能、楽しさなどを考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。</p>	<p>(知識・技能) (知)材料の特性や質感、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や加工方法を基に、材料の持ち味を全体のイメージで捉えることを理解している。 (技)材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 (思考・判断・表現) (発)材料のよさや美しさを基に、使う場面や機能などから主題を生み出し、使いやすさや機能と材料の特性や効果などとの調和を総合的に考え、表現する構想を練っている。 (鑑)使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) (態表)美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に材料の特性や機能性などを生かしてつくることを考えて構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 (態鑑)美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>鑑賞 日本美術：仏像について</p>	<p>3</p>	<p>仏像のもつ造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを主体的に感じ取り、美術文化に関心をもつ。</p>	<p>(知識・技能) (知)形や材料などの性質、それらが感情にもたらす効果や、顔や手の表情や、質感、空間などを基に、よさや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 (思考・判断・表現) (鑑)受け継がれてきた表現の特質などから仏像彫刻のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 (主体的に学習に取り組む態度) (態鑑)美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に仏像彫刻のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

令和8年度 評価規準

学校名：江戸川区立葛西第二中学校

<p>鑑賞 学びを深めよう</p>	<p>3</p>	<p>・作品をじっくりと見つめ、どのように作者が作品をつくっているか、その意図と工夫を考え、自分自身の表現を豊かにするヒントを得るきっかけとしたい。 ・何かをつくるとき、主題の設定、発想、造活動という順で進めるだけでなく、ときには順番を入れ替えて進め、イメージを広げていくことも必要であることを理解させたい。</p>	<p>(主体的に学習に取り組む態度) (態表)形や色彩などの特徴や印象、よさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などに関心をもち、主体的に感じ取ろうとしている。授業規律を守り制作に取り組もうとしている。 (態鑑)形や色彩などの特徴や印象などから全体の感じ、よさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り、自分の意見や考えをもって味わっている。</p>
-----------------------	----------	--	---